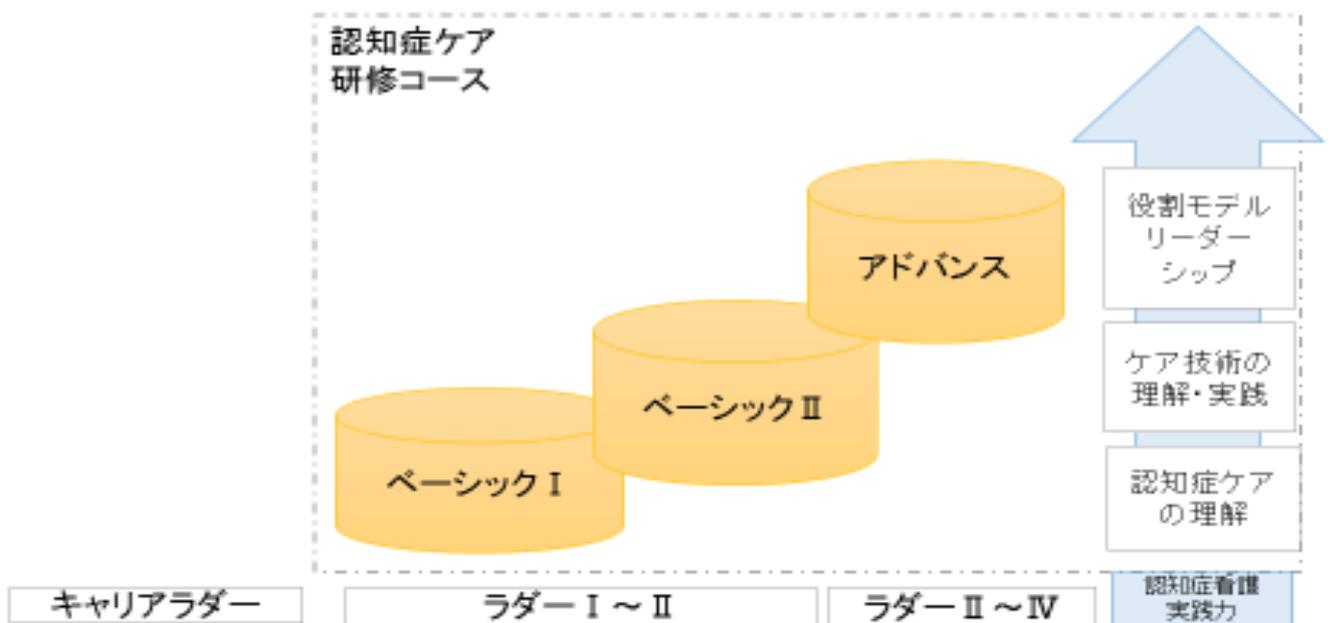


認知症ケア研修プログラム

I.プログラムの特色

認知症ケアには、コミュニケーション・退院支援・意思決定支援・環境調整・地域連携・拘束解除や低減に向けた支援、行動心理症状悪化予防、せん妄予防、倫理的課題の理解と支援がある。プログラムは、これらの専門的知識と技術を段階的に習得できるように、ベーシックⅠ、ベーシックⅡ、アドバンスと3段階の研修コースを設定した。

習得段階は、基礎知識・技術のベーシックⅠを修了した者が、ベーシックⅡ、アドバンスを受講するように設定した。全コースを修了した研修参加者は、部署で認知症看護におけるリーダーシップを発揮し、認知症看護の質の向上に貢献する役割を担う。



II.目標

1. 認知症看護に関する、知識・技術を理解し、認知症の重症度に応じた認知症看護ケアを実践できる人材を育成する
2. 認知症看護技術や専門知識習得に向けた教育プログラムを運営・評価し、人材育成に向けた認知症ケアの教育プログラムを企画する

Ⅲ.対象 各コースの対象と能力指標

	能力指標
ベーシックⅠ	認知症の基礎知識を理解し、認知機能障害とそれに伴う本人の苦痛を理解できる。
ベーシックⅡ	認知症患者の思いやニーズに応える 意思決定支援の基本姿勢を理解できる。
アドバンス	身体機能・精神機能維持のために、身体症状（痛み）の管理、せん妄予防の重要性を理解できる。

Ⅳ.評価体制

1. ベーシックⅠでは生涯教育講座としているためアンケートでの評価とする。ベーシックⅡ・アドバンスコースでは、テストで知識の振り返りを行い、7割以上を達成とする
2. テストによる客観評価の結果が評価基準を達成しない場合は、テストの再提出を求める。再提出によって7割以上を満たした場合は達成とする。

研修の様子



認知症ケア研修プログラム

研修名	到達目標	対象	時期	内容	評価
ベーシックⅠ	認知症の基礎知識を理解し、 認知機能障害とそれに伴う本人の苦痛を知る	院内： ラダーレベルⅠ以上 院外： 医療従事者(市内病院従事者) (生涯教育講座として開催)	7月 60分	1.講義 50分 担当:認知症看護認定看護師 内山 1)わが国の認知症施策と北海道・旭川の実際の施策について 2)認知症とは 3)認知症の症状:中核症状、行動・心理症状(BPSD) 4)認知症に対する治療、認知症治療薬 5)認知症による精神的苦痛 2.情報共有・まとめ 10分 講義の学びをもとに、参加申し込み時のアンケートをもとにしたQ&A	アンケート
ベーシックⅡ	認知症患者の思いやニーズに 応える 意思決定支援の基本 姿勢を知る	院内： ベーシックⅠ、Ⅱ修了者、 もしくは認知症対応能力 向上研修修了者 院外： 医療従事者 (看護職キャリア支援セン ター「地域を紡ぐかんか んセミナー」と共催)	9月 75分	1.ミニレクチャー 15分 担当:老人看護専門看護師 金 1)認知症の人の意思決定支援 2)情報共有、身体拘束防止、退院支援 2.事例紹介・事例検討 40分 担当:認知症看護認定看護師 内山 3.共有とまとめ	リフレクションシートを使用した振り返り アンケート
アドバンス	身体機能・精神機能維持の ために、身体症状(痛み)の 管理、せん妄予防の重要性を 理解できる	院内受講者のみ ベーシックⅠ修了者	11月 60分	1.講義 20分 担当:老人看護専門看護師 工藤 1)認知症・認知機能障害のアセスメント「認知症対応シート」について 2)せん妄の予防・発見・対応 2)認知症のある人とのコミュニケーションと支援 3)急性期・一般病院で求められる認知症ケア(疼痛・栄養管理) 2.ロールプレイング 30分 テーマ【認知機能障害に合わせた治療上の支援、コミュニケーション】 術前・術後のシナリオをもとに3~4人のグループで実施。 * 感染状況によって内容変更する可能性あり。	リフレクションシートを使用した振り返り アンケート